

まちなか震災アーカイブ

11カ所の標識に QRコード設置

東松島市 携帯で被災状況紹介

東松島市は、東日本大震災の被災状況や市民の被災体験談を携帯端末で見られる「まちなか震災アーカイブ」の入り口となるQRコード（2次元コード）付き

の看板を市や国土交通省が設置している津波避難場所、津波到達地点を示す標識の下に取り付けた。

震災の記憶を風化させず、後世に伝えようと、市図

書館が中心になって取り組む「地域の絆保存プロジェクト」の一環。国交省北上川下流河川工事事務所が管理する鳴瀬川両岸の標識3カ所、市管理の津波避難場

所標識8カ所の計11カ所に設置した。

市管理の標識には現在地と震災時の津波到達ラインを示した地図も備えた。実際に津波注意報などが出された際、自分が今いる場所と津波の危険性を把握しやすいようにした。位置関係に不慣れな観光客の安全安心につなげる。

QRコードをスマートフォンなどの携帯端末で読み

込むと、その場所の被災状況や復旧の様子画像が見ら

れる「ict地域の絆保存プロジェクト」のサイトにつながる。
市図書館は「サイトもリニューアルして見やすくなった。一度アクセスしてみてください」と呼び掛けている。



津波避難場所の標識の下に取り付けられたQRコード付きの看板

頑張ろう石巻

3.11東日本大震災